

『土地の履歴』からみた 大災害

～岐阜市の場合～

崖や段差といった「土地の履歴」から地域の開発や災害の歴史を知ることができます。それは、過去を振り返るだけでなく、現在や未来の防災にも役立ちます。

環境考古学の視点から土地開発や災害を研究している講師に、濃尾地震、9・12 豪雨災害等の過去の災害について学び、ふるさと岐阜の未来を展望する機会にしましょう。



12月17日(土)

午前10時～11時30分

【講師】 **高橋 学 氏**

立命館大学 歴史都市防災研究所・環太平洋文明研究センター 教授

【場所】 **ハートフルスクエア-G 2階 大研修室**

【定員】 **100名** (応募者多数の場合は抽選)

【受講料】 **300円**

講師プロフィール

専門は環境考古学(環境史・土地開発史・災害史)、災害リスクマネジメント。京都大学防災研究所巨大災害センター講師、立命館大学理工学部建設環境系助教授を経て、現在、立命館大学歴史都市防災研究所・環太平洋文明研究センター教授。博士(文学)。

主な著書・論文は『平野の環境考古学』古今書院(2003年)、「土地の履歴と阪神・淡路大震災」地理学評論(1996年)、「環境史からみた信長の時代I」立命館文学(2016年)、「環境史からみた中世の開始と終焉」水島司編『環境に挑む歴史学』勉誠出版(2016)など。

※応募方法

往復ハガキ(1枚につき1人)に①講座名②〒・住所③氏名④年齢⑤電話番号を記入して、**12月3日(土)**(必着)で下記へお申し込みください。

※ご記入いただいた個人情報は、講座の運営のためのみに使用し、適正な管理に努めます。

※申し込み・問い合わせ先

〒500-8521 岐阜市橋本町1-10-23 ハートフルスクエア-G内
TEL:058-268-1050 / FAX:058-268-1057

直接申し込みの場合は、返信用のハガキをお持ちください。